
会いたくて。君はどこかに行ってしまった。

ユズポン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

会いたくて。君はどこかに行ってしまった。

【Nコード】

N3492M

【作者名】

ユズポン

【あらすじ】

これは、イナズマイレブンパロです。視点はバーンで、ヒロト、風介と同居しています。

急いで書いたのでクソ文(´・`・´)
前編、後編と分かれています

前編

それは、とても清々しい朝だったー

「今日は結構早起きだったな??？」

俺は南雲晴矢。普段は昼前まで寝ている俺は、今日はなぜか早く目覚めてしまった。

ちなみに自宅は、ヒロトと風介と、3人でアパートで同居している。

午前5時25分。

「コンビニ行くか??？」

そして運命の時。

午前5時46分。

グラッ???

「は??????」

突如、地面が揺れた。

グラグラグラグラ?????????

ドガアアアアアン!!!!!!

何かが崩れたような音と共に、揺れは段々おさまる。

「あつちは????アパートじゃねーか!!!!」

俺は、二人の無事を祈りながら、走りだした。

「おーい!!!ヒロトー!!!風介!!!!!!」

「は?????る、ち?????????」

そこには、風介がいた。

「風介っ！！大丈夫か！！？」

アパートは跡形もなく崩れていて、風介はその瓦礫に足を挟まれているようだった。

「?????私は大丈夫だ????でも??????」

前編（後書き）

すみませんファンの皆さん！

イメージ壊しまくリーヨ。

後編はたぶん今日中に???

後編

「でも？」

何となく、嫌な予感がした。

「ヒロトが下敷きに????？」

????????は!??

「マジかよ!??ちょっと待ってるよ!風介!!」

「ヒロトオーーーー!!!!!!」

何回も呼んでみるが、返答はない。

すると、

ガタッ

「!??ヒロトか!??」

急いで瓦礫をどかしてみる。

「?????晴、矢??????」

「ヒロト!?!」

ヒロトはボロボロの姿でそこにいた。

「待ってる、今助けるから!!」
「?????」

瓦礫をどけようとするも、なかなか重くてびくともしない。
すると、角で切れてしまったのか、手に血が滲んできた。

「く、うう?????!」

「晴????矢????」

「なん????だ、よ?????!?」

ドンッ!!

ヒロトが俺を突き飛ばした。
当然俺が支えていた瓦礫は落ちる。

ドガン!!

「?????!?????ヒロトオ?????!?!」

再び瓦礫を持ち上げる。

ヒロトは頭から血を流し、顔は血まみれだった。

誰が見ても助からないと思うほどに。

「バカじゃねえの?!お前????死にたいのかよ!?!」

「……………晴矢……………」

ヒロトはか細い息で、頼りない声で、血を流し、そして……………
笑顔で何かささやいた。

「……………」

その後、何とかヒロトを助けだしたものの、既に手遅れで……………

ヒロトは亡くなった。

葬式は沢山の人に来てくれた。

瞳子姉さんとか、かつて敵だった円堂率いる雷門イレブンだったり、
エイリアの皆だったり。

沢山の人が泣いていた。

あの時、ヒロトが言った言葉が離れない。

「……ごめんねー僕の分まで生きて……」

なあ、ヒロト。

お前はそれで良かったのか？

でも、それがお前の選んだ道なんだよな。

俺がそつちに行くまで

見守ってくれよな！

またいつか3人で

馬鹿みたいに走り回って

サッカーしような。

f i n

後編（後書き）

ヒロト死ネタがやりたかっただけ。
学校で丁度、習ったので（ry

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3492m/>

会いたくて。君はどこかに行ってしまうて。

2010年10月9日12時01分発行